2019年3月8日

報道関係各位

横河レンタ・リース株式会社

Vol.6「2年連続！健康経営優良法人2019(ホワイト500)に認定」

横河レンタ・リース株式会社(以下、横河レンタ・リース、本社:東京都新宿区、代表取締役社長:金川 裕一)は、2019年2月21日、経済産業省が選定する「健康経営優良法人(ホワイト500)認定制度(※1)」において、2018年に続き2年連続で認定されました。

(※1)健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制度。(「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です)

当社では、創業以来、人材を最も大切な経営資源と位置付け、従来から福利厚生の充実を図ってまいりました。社員の平均年齢が30歳を超えた2000年代初頭から、社員の心身の健康増進も重要な経営課題と捉え、支援体制の充実に努めています。近年の主な取り組みとして、従来からの生活習慣病予防対策、メンタルヘルス対策、長時間労働による健康障害防止対策に加え、喫煙対策としてノースモーキングタイムの設定と事業場の屋内喫煙所の全廃、生活習慣病対策として健康増進セミナーの開催、多様な感染症の流行に備えた社内啓発などの取り組みを行っています。

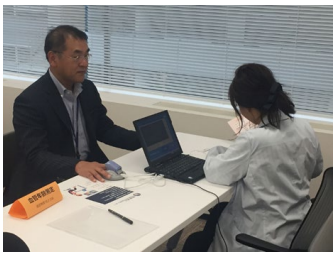
【2018年度の取り組み】

○定期健康診断受診率100%の5年連続達成

労働安全衛生法に定められた定期健康診断について、5年連続で受診率100%を達成しています。また有所見者全員に対し改善指導を行い、必要と認められる場合は、産業医・保健師が個別面談による継続的指導を実施しています。

○健康増進セミナーの開催

昨年度に引き続き、健康増進セミナーを開催しました。2018年度は、健康保険組合の後援も得て、「今からでも間に合う、血管年齢若返りの術」と題するイベントを企画し、血管年齢測定の体験や血管を良好に保つための秘訣など、産業医がレクチャーするセミナーを主要事業場で開催しました。



役員も率先して血管年齢測定に参加

健康増進セミナーには多数の社員が参加

○メンタルヘルス対策の強化

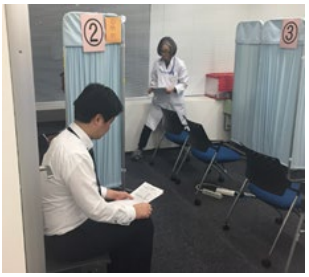
2016 年度から、社員一人ひとりにオリジナルのメンタルヘルスガイドブックを配布し、ストレスチェックと併せて、セルフケアの啓発に努めているほか、2018 年度は、すべてのマネージャーを対象としたラインケア研修を開催し、マネージャー全員が社員のメンタルのケアへの意識向上に努めています。

マネージャー対象のラインケア講習

○感染症予防への取り組み

インフルエンザに加え、ノロウイルスや風疹、麻疹など、多様な感染症が流行している状況に対応し、社員の感染症予防の意識を高めることを目的に、2018 年度は、東京都保健福祉局が主催する「職場で始める！感染症対応力向上プロジェクト」に参画し、全社員がEラーニングの受講をとおして感染症予防に対する意識を高めました。

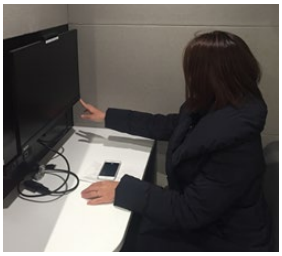
社長が率先してインフルエンザ予防接種



毎年度、インフルエンザ予防接種の集団接種を実施

○テレワークの推進

働き方改革の一環として、テレワークを推進しています。2018 年度は総務省が主催する「テレワークデイズ 2018」に参画し、現在は約 50 人の社員が通常勤務とテレワーク勤務を併用した働き方を実践しています。



テレワーク推進プロジェクトによる
コワーキングスペースの実地調査

○スポーツ振興

社員の親睦団体への支援を通じて、社員のチームワーク醸成、健康増進を目的に、社員のさまざまなスポーツへの参加を奨励しています。2018 年度は、東京都から「スポーツ推進企業」に、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」に認定されました。

○社会貢献活動

2018 年度は、6 年連続で国立の医科大学看護学部の学生実習の受け入れを行い、働く人々の健康管理について学習・研究の場を提供しているほか、当社の保健師が相模原産業保健推進委員会、相模原市「働く人の健康づくり地域・職域連携推進連絡会」の委員を務めています。また人事総務部に所属する社員が日本EAP協会総会において、「働き方改革と健康経営」と題するテーマで講演するなど、社内のみならず社外に対しても積極的に健康経営の啓発に努めています。

当社相模原テックで実施された学生実習

当社社員が日本EAP協会で「働き方改革と健康経営」と題して講演

以上

●ニュースレターに関する問い合わせ先
横河レンタ・リース株式会社　広報担当
E-mail：kouhou-1@yrl.co.jp　TEL：03-6885-7654